

# 健康のページ

総合保健福祉センター ☎86-0900  
吉川健康福祉センター ☎72-2210

新型コロナウイルス感染防止のため、各種予定が変更・中止になる場合があります。最新情報はホームページや電話でご確認ください。

## 健診（対象者には個別に通知します）

| 健診名    | 健診日      | 次回予定日    |
|--------|----------|----------|
| 乳児集団   | 1月27日(水) | 2月24日(水) |
| 1歳6カ月児 | 1月14日(木) | 2月18日(木) |
| 3歳児    | 1月15日(金) | 2月19日(金) |

場 総合保健福祉センター



## 母子

### 母子健康手帳と助成券の交付

母子健康手帳の交付と同時に妊婦・産婦健康診査費助成券と新生児聴覚検査費助成券をお渡します。時間に余裕を持ってお越しください。

- 対 妊婦
- 持 妊婦健診の領収書原本、印鑑、振込先の通帳、マイナンバーが確認できるもの、運転免許証などの本人確認ができるもの

### 乳房管理指導等における費用の助成

- 対 産後12カ月までの母親（申請の受付は14カ月まで）
- 持 母子健康手帳、領収書原本、印鑑、振込先の通帳

### みつきいたまびよサロン

- 産前サポート
  - 日 1月16日(土) 午前10時～正午
  - 対 妊婦と家族 対 沐浴体験、相談
  - 期 1月13日(水) 午後5時まで
  - 持 母子健康手帳、飲料、バスタオル
  - 申 申 申【要予約】 定 先 15組



▲スマートフォンからの申込みはこちら

- 産後サポート
  - 日 1月21日(木) 午前10時～正午
  - 対 妊産婦、乳児と家族
  - 内 相談、妊産婦同士の交流など(妊娠中も利用可)
  - 持 母子健康手帳
  - 場・問 総合保健福祉センター

### 離乳食クッキング

- 日 1月22日(金) 午前10時～11時
- 対 市内に住民登録のある乳児の保護者
- 持 母子健康手帳 申 申【要予約】
- 場・問 総合保健福祉センター

## 予防接種

### 日本脳炎の特例接種

平成17～21年度にかけ、予防接種の案内がなかったことにより接種機会を逃した方は、特例対象者として無料で接種できます。

- 対 ・平成19年4月1日までに生まれた20歳未満で定期接種(全4回)が完了していない方
- ・平成19年4月2日～21年10月1日生まれで1期(生後6カ月～7歳半)の3回接種が完了していない方
- ▶ 予診票 市内の協力医療機関にあります。市外の病院で接種する場合は、母子健康手帳を持って総合保健福祉センターまたは吉川健康福祉センターまでお越しください。
- 問 (市)健康増進課(総合保健福祉センター内) ☎86-0900

市内の新型コロナウイルス感染者数は、ホームページで確認または問い合わせください。



## 相談

### 妊産婦・乳幼児健康相談

身体測定や育児・栄養・歯科などの相談

- 日 1月7日(木) 午後1時30分～3時
- 申 申【要申込】
- 場 吉川健康福祉センター 3階吉川児童館
- 問 吉川健康福祉センター

### 乳幼児発達専門相談(すこやか相談)

子どもの言葉や発達・行動面の相談

- 日 1月19日(火) 午後1時～3時
- 申 申【要申込】
- 場・問 総合保健福祉センター

### 成人保健相談

医師・保健師・栄養士による相談、血圧測定、尿検査、血液検査

- (申 申 費 1,000円) など【要申込】
- 日 ①1月13日(水) 午後2時～3時30分
- ②1月26日(火) 午後1時30分～3時
- 場・問 ①吉川健康福祉センター ②総合保健福祉センター

### 歯と口の健康相談

歯科医師による健診・相談と歯科衛生士によるブラッシング指導

- 日 1月7日(木) 午後1時30分～2時30分
- 場・問 吉川健康福祉センター

### 健診結果相談会

個別相談(健診結果の説明、栄養の話)とストレッチ体操など

- 日 1月29日(金)
- (1)午前9時30分～10時30分 (2)午前10時45分～11時45分
- 対 町ぐるみ健診受診者
- 持 健診結果表、筆記用具、運動ができる服装、マスク
- 申 申【要申込】
- 場・問 総合保健福祉センター

### 不妊・不育専門相談／男性不妊専門相談

県では専門の医師・助産師などによる、不妊や習慣性流産、不育症などに関する相談を行っています。

相談日程や予約方法など、詳しくは



▲スマートフォンからの申込みはこちら

## その他

### 健康ポイント対象事業

#### ファースト講習会(体力測定室の会員登録)

- 日 1月19日(火) 午後1時30分～3時30分
- 対 16歳以上
- 期 1月13日(水) 午後5時まで
- 対 1,600円(登録証代込)
- 持 運動ができる服装、室内用運動靴、タオル2枚、飲料、マスク、筆記用具
- 申 申 申【要予約】 定 先 10名
- 場・問 総合保健福祉センター



▲スマートフォンからの申込みはこちら

- 三木市健康医療相談ダイヤル  
24時間年中無休、通話・相談料無料 ☎0120-682-086
- 北播磨圏域子ども医療電話相談  
午後6時～10時(祝日・年末年始を除く) ☎62-1371
- 兵庫県子ども医療電話相談  
月～土曜 午後6時～翌日午前8時  
日曜・祝日・年末年始 午前8時～翌日午前8時  
プッシュフォン・携帯電話・スマートフォン ☎#8000  
ダイヤル回線・IP電話 ☎078-304-8899

記号の意味 日日時 場場所 対対象 内内容 講講師 期募集・受付期間 費費用 持持ち物 託託児 休休み  
申申込 (☎電話 窓窓口 郵便 機ファックス ㊚E-mail ㊚インターネット)  
定定員 (先先着 抽抽定員を超えると抽選) 問問い合わせ (☎電話番号・機ファックス・㊚E-mail)

## 休日当番医・小児科救急当番医・休日歯科診療

※受診する前に当番医に電話でご相談ください。来院の際にはマスクを着用してください。当番医および診療科目は変更になる場合がありますので、当日の新聞または事前に医療機関へ確認してください。緊急時のみ利用してください。



- 休日当番医 日 午前9時～正午、午後1時～5時(受付：午後4時30分まで)
- 小児科救急当番医 日 火・木曜 午後6時30分～9時30分(受付：午後9時まで)
- 休日歯科診療 日 午前9時～正午(受付：午前11時30分まで)
- 場 休日歯科診療所(総合保健福祉センター内) ☎86-0903 持 健康保険証

| 日   | 月   | 火                                       | 水  | 木  | 金  | 土  |
|---|---|---|----|--|----|----|
| 3<br>🦷 休日歯科診療<br>【小】藤本クリニック<br>緑が丘町西2丁目 ☎85-6262<br>【整・リウ】夢愛クリニック<br>志染町西自由が丘1丁目<br>☎84-3739<br>【外】吉川病院<br>吉川町稲田 ☎72-0063 | 4   | 5<br>👩 小島医院<br>末広1丁目<br>☎82-1057        | 6  | 7<br>👩 かわい子どもクリニック<br>志染町中自由が丘1丁目<br>☎85-8466  | 8  | 9  |
| 10<br>🦷 休日歯科診療<br>【内】私立 口吉川診療所<br>口吉川町笹原 ☎88-2066<br>【外・脳外・整】服部病院<br>大塚 ☎82-2550  | 11<br>🦷 休日歯科診療<br>【小・ア・小神】小児科神沢クリニック<br>福井3丁目 ☎83-5950<br>【眼】やまだ眼科<br>志染町青山4丁目 ☎87-0401   | 12<br>👩 藤本クリニック<br>緑が丘町西2丁目<br>☎85-6262 | 13 | 14<br>👩 小児科神沢クリニック<br>福井3丁目<br>☎83-5950        | 15 | 16 |
| 17<br>🦷 休日歯科診療<br>【内・循内・呼内】かとう内科クリニック<br>本町3丁目 ☎82-8022<br>【外】吉川病院<br>吉川町稲田 ☎72-0063                                      | 18  | 19<br>👩 宮崎小児科内科医院<br>大村<br>☎82-2131     | 20 | 21<br>👩 藤本クリニック<br>緑が丘町西2丁目<br>☎85-6262        | 22 | 23 |
| 24<br>🦷 休日歯科診療<br>【内・整・外】三木山陽病院<br>志染町吉田 ☎85-3061<br>【泌】近藤泌尿器科クリニック<br>別所町小林 ☎84-2525                                     | 25  | 26<br>👩 小児科神沢クリニック<br>福井3丁目<br>☎83-5950 | 27 | 28<br>👩 かわい子どもクリニック<br>志染町中自由が丘1丁目<br>☎85-8466 | 29 | 30 |
| 31<br>🦷 休日歯科診療<br>【内・小】松本医院 渡瀬診療所<br>吉川町渡瀬 ☎73-0015<br>【整・外】高矢整形外科医院<br>志染町吉田 ☎83-8939                                    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【内】内科 【外】外科 【整】整形外科 【リウ】リウマチ科 【脳外】脳神経外科 【循内】循環器内科<br/>【小】小児科 【ア】アレルギー科 【小神】小児神経科 【眼】眼科 【呼内】呼吸器内科 【泌】泌尿器科</p> </div> |   |    |  |    |    |

## 令和の歯科医療の姿

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの襲撃によって散々な1年になりましたが、今年は皆様にとって明るい年になりますようお祈りいたします。

さて、日本はかつて昭和30年代以降“むし歯の洪水状態”と呼ばれた時代がありました。しかしながら地域の歯科医師会やかかりつけ歯科医による予防の取り組みと学校歯科保健制度の充実により、12歳児のむし歯数は平成5年の4.09本から令和元年には0.70本と大きく減少しました。さらには私たち日本歯科医師会と厚生労働省が平成の30数年間に取り組んできた、「80歳以上になっても20本以上の歯を保ち健康を保持しよう」という『8020運動』の成果により、開始時には1割にも満たなかった8020達成者が2016年には5割以上に達しました。また歯科医療と口腔ケアの充実には単に歯と口腔の健康に寄与するだけでなく、たとえば認知症・糖尿病・心臓疾患・脳血管障害など生命にかかわる疾病の予防に大きく関

## 歯科医師会から

問 ☎86-1622

与していることが解明されてきました。結果的に医科を含めた国家全体の医療費膨張の歯止めとして寄与していることが証明されています。平成の時代はまさに歯科医療と口腔ケアの充実による原点復帰と離陸の時代であったと言えるでしょう。

これからの令和の時代は“人生100年時代”と言われる。今後の歯科医療は国民の人生の質(QOL)の向上に今まで以上に寄与していくことが求められます。長寿社会においては「食べる」「話す」「笑う」という生活の基本的な機能を最期まで維持することが重要であり、そのために歯科医療の質の進捗だけでなく、新技術の導入、訪問診療の充実や食支援などに積極的に取り組み、新しい令和の時代への貢献をめざしていきます。

詳しくは三木市歯科医師会に加入する歯科医院でお尋ねください。